

## 学校応援プロジェクト 2023 年度活動報告

### 鶴牧中学校 Tsurumaki English Day Camp! & World Campus 交流会

8月3日(木)、4日(金)、7日(月)にわたり、多摩市立鶴牧中学校で「Tsurumaki English Day Camp!」と「World campus 交流会」を実施しました。鶴牧中学校における英語活動のプロジェクトは今回で3回目となります。

3日と4日に実施した「Tsurumaki English Day Camp!」では、できるだけたくさんの英語を使いながら、ゲームを通したコミュニケーション活動をしました。7日に実施した「World Campus」では、鶴牧中学校に来校した世界各国を回っているワールドキャンパスの10名の方々と英語を使って交流しました。学校応援プロジェクトのグローバルチームでは、中学校の先生方と連絡を取りながら、準備の段階から関わらせていただき、貴重な経験になりました。



#### Tsurumaki English Day Camp! (8月3日、4日)

開会セレモニーでは、「Did you get it?」「Yes, I got it./No, I didn't.」を中学生に紹介し、これからの3日間で使えるフレーズ紹介をしたり、中学生から意気込みを聞いたりしました。この時は、生徒の皆さんは、始まったばかりで緊張気味でした。

「Tsurumaki English Day Camp!」1日目の1つ目のゲームは、「BIBGO ゲーム」です。9マスに英語で数字と色を書き、ビンゴを行いました。英語で一生懸命書いてくれていて、「BINGO!」となったときはとても嬉しそうでした。5BINGOや6BINGOとなった生徒さんもいました。

2つ目のゲームは、「異文化理解クイズ」です。写真を何枚か見てもらい、どこの国かを当てるゲームです。4か国実施しました。グループ対抗戦だったため、どの班もコミュニケーションを取りながら、楽しそうに活動していました。生徒のみなさんは最初のうちは遠慮がちでしたが、「何回答えてもいいんだよ」と言うと、徐々に、イチかバチかで答えて盛りあがっていました。

3つ目のゲームは、「海外ショッピング」です。異文化理解クイズで扱った国々の有名な商品をグループごとにお土産として買います。学校応援プロジェクトがこれまで実践してきた海外ショッピングでは、生徒さんたちはお客さんとして商品を買う役割でアクティビティを行ってききましたが、今回は、初めてお店側の店員さんとして商品を売る側の役割を経験してもらいました。英語を使ったお客さんへの対応の仕方を学ぶことができ、思った以上に良い経験ができたと思います。

2日目は、オリジナルの「リスニングクイズ」からスタートです。映画「アナと雪の女王」の『Let it go』など、中学生でも知っているような洋楽の曲をピックアップし、曲を聞きながら歌

詞を英語で埋めていくゲームです。生徒のみなさんは、諦めずに何回も聞いて単語を聞き取ろうとしてくれました。最後はみんなで楽しく英語で歌うことができました。

2つ目のゲームは、「Who has a different card? Quiz!」です。グループの中で異なるカードを持っている人は誰かを、英語で質問しながら当てるゲームです。少しルールが複雑でしたが、グループ内で積極的にコミュニケーションが取れていたと思います。

3つ目のゲームは、「道案内ゲーム」でした。鶴牧中学校の校舎地図を使い、英語で決められた教室までの道案内をし、グループのメンバーがそれはどこの教室か当てるゲームです。道案内の言い回しを習っていない学年があったので、最初に丁寧にフレーズをレクチャーしました。慣れてくると、スムーズに道案内ができる生徒さんもいて学びのあるゲームになりました。



閉会セレモニーでは、フレーズの確認や、中学生や先生方から感想をいただきました。生徒のみなさんは、開会セレモニーでは日本語でしたが、閉会セレモニーでは英語を使って感想を言ってくれました。

両日ともすべてのアクティビティの終了後にフリートークタイムを設けました。アクティビティでかなり英語を使うことに慣れていたので、フリートークでは楽しそうな話題が飛び交っていました。生徒のみなさんも大学生も、自分が知っている単語を駆使して会話を楽しみました。

また、アクティビティでは、異学年でグループを作ったので、普段あまり話せない仲間と交流する機会を持つことができ、生徒のみなさんも楽しそうでした。



## World Campus 交流会（8月7日）

「World campus」とは、世界各国から集まった若者が、ホームステイをしながら学校や福祉施設等での交流活動に参加し、相互理解を促進する活動を行う活動です。鶴牧中学校が行う国際理解教育の一環として行う計画があり、学校応援プロジェクトとして企画段階から関わらせていただきました。当日は、オランダ、アメリカ、ノルウェー、ベルギー、フィンランドから10名の方々が鶴牧中学校に来校しました。最初は中学生、ワールドキャンパスの方々、私たち大学生含めて、みな緊張気味でしたが、英語を使ったアクティビティを通して緊張をほぐしコミュニケーションをとることができました。

開会セレモニーではアイスブレイクとして絵合わせゲームを行いました。三分の一の絵が描かれたカードが配られ、そのカードの特徴を英語で伝えて仲間を見つけ、絵を完成させるというゲームです。恥ずかしがっている様子もうかがえましたが伝えようと一生懸命に取り組み、最後は全員が仲間を見つけることができました。

最初のアクティビティは「インタビュアーになってみよう！」です。中学生がワールドキャンパスのみなさんに英語でインタビューをしていきます。趣味や日本の食べ物が好きかどうかなど英語を使って会話をすることができました。はじめは聞き取れるか、会話ができるのかが不安でしたが、生徒さんたちは自分の力でコミュニケーションをとろうと頑張っていました。時には大学生の力も借りながら、インタビュアーになることができたと思います。



2つ目のアクティビティはBINGO ゲームです。スポーツと11~30の数字というテーマでマスを埋めてもらいました。ワールドキャンパスのみなさんの中には、アメリカンフットボールと書いた方がいました。出身地によってメジャーなスポーツに特徴があり、新たな発見がありました。自分と同じ単語を書いている人が一人でもいたらその単語を消すことができるというルールを設けてゲームをしました。大学生によるリハーサルでは同じ単語を書いて消すことができるか不安でしたが、意外にもビンゴになった参加者が多く楽しんでいました。

最後のアクティビティは「TSURUMAKI MYSTERY TOUR」です。校内の教室に隠された問題を見つけ、問題を解きながら中学生が学校を案内していくというアクティビティです。各グループに分かれて行きました。中学校の文化などを紹介していくと、日本と外国の学校の違いを互いに知ることができました。中学生が教室を紹介するときには事前に考えてきた英作文を使いながら一生懸命に取り組んでいました。中学生にとっても当たり前だと思っていたことが外国ではそうではない場合もあることを知って学びにつなげることができたと思います。

閉会セレモニーではワールドキャンパスの方から実際に日本の中学校に来て驚いたことがたくさんあったという感想をいただきました。また、一日の感想を発表してくれた中学生は英語で感想を述べることに挑戦してくれました。3日、4日に引き続き中学生には英語を使って活動してもらい、7日は実際に英語が通じるかという挑戦でもありました。中学生が一生懸命に英語を使ってコミュニケーションをとる姿には、私たち大学生も感銘を受けました。

今回のプロジェクトは、学生側が初めてプロジェクトに参加するメンバーが多く、準備の段階から大変な部分もありましたが、準備を含め、当日の進行では校長先生や鶴牧中学校の先生方にも助言・提案をいただき、中学生のみなさんにとって、とても価値のある3日間になったと思います。

鶴牧中学校のみなさん、ワールドキャンパスのみなさん、ありがとうございました！

